

令和3年度(2021年度)公共事業再評価調査書

基準年月日 令和3年8月1日

Table with 4 columns: 調書番号 (08-12), 所管部 (建設部), 作成責任者 (建設部土木局河川砂防課砂防災害担当課長 松田 哲夫), 担当係 (砂防係(内) 29-401)

I 基本事項(基準日時点)

Table with 4 columns: 事業種別 (通常砂防事業費(社会資本整備総合交付金)), 地区名 (セブ川), 市町村名 (新冠町), 事業費 (1,600百万円), 負担割合 (国 50.0%, 道 50.0%, 市町村 800百万円, その他 800百万円)

Table with 2 columns: 事業目的・目標 (土砂災害から地域住民の生命、財産、公共施設などを守るため...), 事業概要 (セブ川通常砂防事業は、土砂災害から人家や公共施設などを守るため...), 工事費内訳 (砂防堰堤工 N=1基, 渓流保全工 L=600m, 流木捕捉工 N=2基, 床固工 N=9基 → N=5基, 帯工 N=0基 → N=6基, 落差工 N=0基 → N=1基, 護岸工 L=0m → L=480m, 測量設計費 調査・設計, 用地費及び補償費 用地買収・物件補償)

Table with 2 columns: 総合計画での位置付け (総合計画: 中項目, 大規模自然災害対策の推進(強化)), 総合計画: 小項目 (大規模自然災害に対する北海道自らの脆弱性の克服), 関連する指標 (—)

II 公共事業評価経過 (単位: 百万円)

Table with 10 columns: 事業採択, 着手, 評価年度, 完了予定, 経過年数, 総事業費(a), 道負担額, 当該年度事業費, 累計事業費(b), 進捗率(b)/(a)

Table with 2 columns: 変更理由・内容 (1) 用地買収困難地回避及び現地測量結果による施設配置計画・構造変更などによる増額, (2) 資材及び労務単価や消費税率が上昇したことによる増額, (3) 施設配置計画の見直しに伴う完了予定年度の延伸

III 事業採択前の状況

Table with 2 columns: 1. 事業採択に至る経過と背景 (H15年(2003年)8月, H18年(2006年)8月の豪雨により...), 2. 事業検討の経緯 (H22年(2010年) 新冠町から事業着手の要望を受ける...), 3. 事業効果を及ぼす地域・対象 (新冠町字新栄地区 人家3戸, 道道0.5km, 生活センター(避難場所), 橋梁2基), 4. 関連する事業 (Table with 5 columns: 事業名, 事業主体, 事業期間, 事業費(百万円), 事業内容)

IV 事業の実施状況

Table with 12 columns: (1) 事業実績及び今後の計画 (Table with 11 columns: 施工(工種)区分, 工事内容, H23, ~, 28, ~, 30, R1, 2, 3, 4, ~, 7, 進捗状況, 事業費(百万円)), (2) 進捗状況 (砂防堰堤工, 流木捕捉工, 帯工, 渓流保全工の整備が完了...)

Table with 2 columns: a: 概ね予定どおり実施している, b: 事業計画・期間等を変更し実施する, c: 問題が生じ、実施に支障をきたしている

Table with 4 columns: 経済効果の内訳(百万円), 費用の内訳(百万円), B/C, 備考 (「治水経済調査マニュアル(案)」(国土交通省R2)「砂防事業の費用便益分析マニュアル(案)」(国土交通省水管理・国土保全局 砂防部R3年1月)に基づき算出...)

| 3. コスト削減などの取組 | 取組の項目 | 取組内容 | 縮減額(百万円) |
|---------------|---------|----------------------------|----------|
| | 資源循環の促進 | すき取り土を法覆工に有効利用することによるコスト削減 | 1 |

V 評価

1. 必要性
 ●本事業は、土砂災害から地域住民の生命、財産を守ることが目的であり、その事業効果が大きい。また、今後の出水により下流域への土砂流出が懸念されるなど、土砂災害が発生する危険性が高いことから、事業の必要性に変化はなく、着実に事業の推進を図る必要がある。

a a：事業の必要性に変化はなく予定どおり事業を推進する。 b：着工後の状況変化により事業計画の変更が必要である。
 c：着工後の状況変化により事業推進の是非を判断する必要がある。

2. 事業を推進する上での課題
 (1) 環境上の配慮及び課題
 ● 砂防堰堤工及び流木捕捉工の法覆工にすき取り土を被覆することで在来種による早期の緑化を促す。
 ● 砂防堰堤工については、スリット構造を採用し、水生生物の移動に配慮するとともに、床固工に魚道工を設置することにより溪流の連続性を確保している。
 (2) 事業推進に対する住民の動向
 ● 新冠町から事業の早期完成に向けて毎年度要望されている。
 (3) その他の課題
 ● 特になし

3. 事業達成の見込み
 現状では事業進捗に大きな支障となるものはなく、事業は順調に進捗していく見込みである。

a a：現時点では事業の進捗に影響する課題はなく、達成が見込まれる。
 b：課題はあるものの達成は可能である。
 c：大きな課題があり達成には相当の困難が予想される。

4. 対処方針
 事業の必要性に変化はなく、地元からの早期完成要望も受けているため、令和7年度(2025年度)の完成を目指して事業を継続する。

a a：継続 b：終了 c：休止 d：中止

| | | | | | | |
|-----------|---|----------|---|-----------|------------------|--------------|
| 事業期間変更の有無 | 有 | 事業費変更の有無 | 有 | 事業内容変更の有無 | 目的・規模等に係る変更 無 | 左記以外の変更 有 |
|-----------|---|----------|---|-----------|------------------|--------------|

VI 備考

1. 評価履歴
 事前評価：該当なし
 再評価：平成28年度評価 評価結果：継続(変更なし) B/C:2.28

2. その他の取組事項

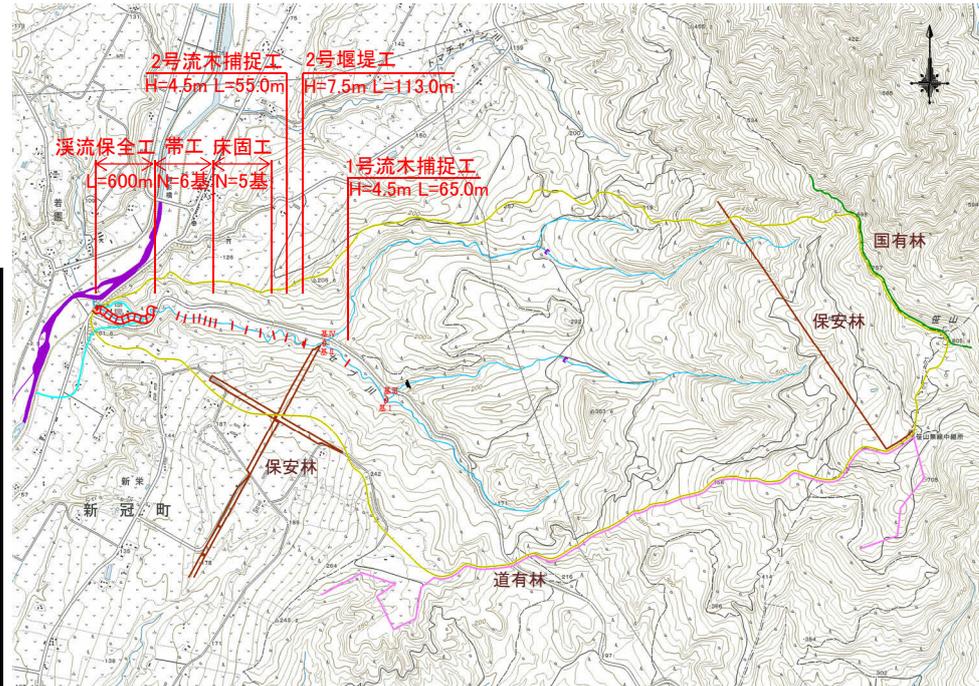
補足資料

VII 事業計画変更 (単位：百万円)

| 事業年度 | 再評価 | 事業採択 | 着手 | 変更年度 | 完了予定 | 経過年数 | 事業費 | 事業計画変更 | | | | |
|----------|-----|-----------|-----------|-----------|-----------|------|-----|---------|------|---------|----------|------------|
| | | | | | | | | 総事業費(a) | 道負担額 | 当該年度事業費 | 累計事業費(b) | 進捗率(b)/(a) |
| 事前評価又は当初 | | H23(2011) | H25(2013) | | H28(2016) | | | 790 | 395 | | | |
| 変更① | 1回目 | H23(2011) | H25(2013) | H28(2016) | H32(2020) | | | 990 | 495 | | | |
| 変更② | | | | H28(2016) | H32(2020) | | | 1,044 | 522 | | | |
| 変更③ | | | | H30(2018) | H37(2023) | | | 1,549 | 775 | | | |
| 変更④ | 2回目 | | | R3(2021) | R7(2025) | | | 1,600 | 800 | 70 | 1,223 | 76% |
| 変更⑤ | | | | | | | | | | | | |
| 変更⑥ | | | | | | | | | | | | |
| 変更⑦ | | | | | | | | | | | | |
| 変更⑧ | | | | | | | | | | | | |
| 変更⑨ | | | | | | | | | | | | |
| 変更⑩ | | | | | | 10 | | | | | | |

変更理由・内容
 変更①：事業費の変更及び事業期間の延伸
 ・現地調査の結果、構造物形状が変更となったことなどによる
 ・環境調査等の増工などによる
 ・事業費の増、及び地元調整に時間を要したことによる
 変更②：事業費の変更
 ・現地測量結果による構造物形状変更などによる事業費の増額
 ・資材及び労務単価や消費税率の上昇による事業費の増額
 変更③：事業費の変更及び事業期間の延伸
 ・用地買収が不可となったため、施設配置計画変更などによる事業費の増額
 ・資材及び労務単価や消費税率の上昇による事業費の増額
 ・施設配置計画の見直しに伴う完了予定年度の延伸
 変更④：事業費の変更
 ・資材及び労務単価や消費税率の上昇による事業費の増額

セブ川 通常砂防事業費(社会資本整備総合交付金)



電子地形図25000(国土地理院)を加工して作成

| 凡例 | |
|----|--------|
| | 流域界 |
| | 計画基準点 |
| | 流路 |
| | 砂防堰堤 |
| | 床固工・帯工 |
| | 渓流保全工 |
| | 既設砂防堰堤 |
| | 保安林 |
| | 道有林 |
| | 国有林 |

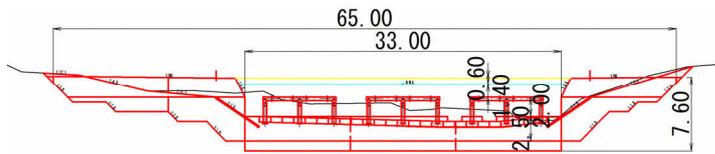
事業の目的

- 土砂災害から地域住民の生命、財産、公共施設などを守るため、砂防設備の整備を行う。
- H15年(2003年)8月、H18年(2006)8月の豪雨出水により、流域内が荒廃したため、土砂災害が発生する危険性が非常に高い。
- 砂防堰堤工や渓流保全工等の整備を行い、人家や公共施設などを土砂災害から守ることを目的とする。

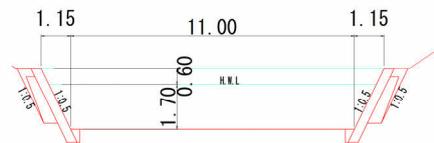
事業概要

- セブ川通常砂防事業は、土砂災害から人家や公共施設などを守るため、砂防設備(砂防堰堤工、流木捕捉工、床固工、帯工、渓流保全工)の整備を行うものである。

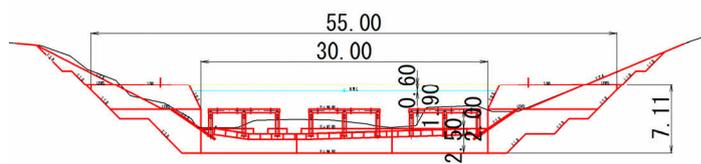
1号流木捕捉工



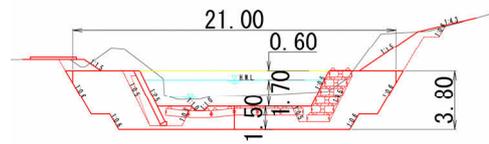
渓流保全工



2号流木捕捉工



帯工



2号砂防堰堤



床固工

